

# 広報さとる



発行日:2024年1月29日(NO.036) 発行所:トヨタ自動車労働組合

発行人:近藤大輔 編集人:井出さとる 印刷所:(株)トヨタエンタプライス

## 今こそ、モビリティを 扱う者として、自動車関係 諸税にこだわろう!

今や、モビリティは「社会インフラ」そのもので、日本全体が社会生活を営む上で欠かせないことは誰もが疑う余地がありません。しかし、いわゆる2024年問題などで示唆されている、物流や旅客などの分野で、例えば「荷物が届かなくなる」「路線バスが運行できなくなる」などのモビリティ網の崩壊も懸念されており、モビリティを取り巻く環境は危機的な状況となっています。

私が入社してから35年経過しましたが、思い返せばその頃から「自動車関係諸税」「燃料関係諸税」というキーワードは聞いたような気がします、今ほど盛んに聞こえた記憶はありません。

今やモビリティは、人口減少社会が加速する日本における、例えば超高齢化が進む、公共交通が脆弱な集落地域の生活を維持するために、そして移動の自由を確保するために必要不可欠なものです。しかも、加速する生産年齢人口の減少で、移動の自由の担い手(運転手など)の確保もままならない状況になりつつあります。

この危機を脱却するには、戦略的な政策が不可欠であり、モビリティ産業の仲間が生み出す先進技術を、いち早く社会に受け込ませる政策が不可欠です。そのために「自動車関係諸税」を抜本的に改革して、日本の経済発展と社会課題解決を革新的に推し進める仕組みづくりが重要です。

私たち一人ひとりが「日本の課題をモビリティで解決する!」との熱い思いを具体的に、「はまぐち誠」「いそざき哲史」に届けることが、とっても重要であり、今こそ必要な時期に来ていると切に感じます。

## モノづくりの魅力を 子どもたちに伝えよう!

モビリティに関わる同士たちが、小中学校の子どもたちにモノづくりの魅力を伝えてくれています。クルマの生産ラインの様子や、組立工程を模したゲーム感覚でカンバンTPSを体験するコーナー、先端技術や試作を体験するコーナーなど、それぞれが工夫を凝らしています。

「モノづくりは、魅力的で、楽しくて、夢がある!」それが伝わり、実感できることこそが、次世代を担う子どもたちにとって、価値があることだと思います。同志が堂々と、明るい笑顔でモノづくりの魅力を伝える「伝道師」として活躍しています。

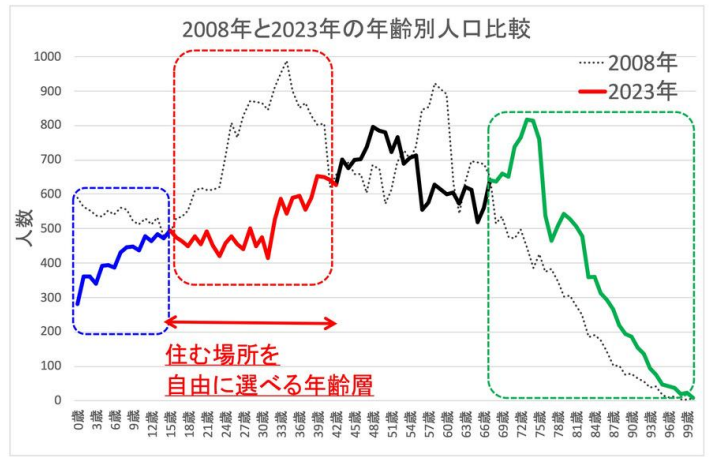
先端技術の実証都市で、モノづくりの魅力を実感した子どもたちが活躍する日は近いと思います!



# 一般質問)人口減少を克服するための学校の統廃合なのに…

裾野市は少子化や転出超過の影響により、子どもの人数が急激に減少しています。が、学校の統廃合が遅々として進みません。「そんなに性急に統廃合しなくても」という声もありますが、「今、一番ど真ん中」の子育て世代は、居住住所により、学区選択をすることができません。

一般質問では、「**過小規模校の就学者に対して、「適正規模を選択できない」状態が長期化することは望ましくない。**『地域における学校の施設のあり様の議論』と『子どもが選択したい学びの環境』の対応は別で対応すべきではないか。」との問いに、教育委員会は「**子どもが学びの環境を選択できることは大切だが、自由に学校選択ができることで複式学級化を早めるため、現時点では難しい。**」という理解が難しい答弁となっています。(子育て世代は「複式学級＝過小規模学級」が懸念されるから選択したい)



集落地域でも安心できる環境とは、「子どもも、親も、自由に選択できる」ことですので、子育て世代のニーズを全く分かってない。という事です。

このままでは、自然環境に恵まれ、のびのびと子育て出来る、ゆとりある集落地域の良さが活かされません。子育て世代が親として、子どもたちにどの様な教育環境で学ばせたいと思っているのか、統廃合について、次の地域を担う、子育て世代の考えを聞いて結論を早急に出す事が必要です。



# 同士「いそざき哲史」さんに、モビリティを取り巻く政治のこれからについて聞きました!

モビリティを社会実装(実際の生活で役立つ)するためには、モビリティの職人たちも今こそ、政治に無関係、無関心からの脱却が必要なんです!

と、お堅い話は置いておいて、衆議院の臨時会が閉会した翌日!「政治と金」で大揺れの12月14日に(偶然)参議院議員の「いそざき哲史」と、

「モビリティを取り巻く政治のこれから」についてお話を伺いました。

実家が和菓子屋で、あんこ大好き、エンジニア出身のいそざきさんの可愛い笑顔は必見です!新しいモビリティを社会実装するための考え、トリガー条項などを含めた自動車関係諸税改革に対する取り組み、ものづくり産業が日本の未来を握っている!と言っても過言ではない現在。「自分以外のために」とは何か。

それを実現する為の政治の役割などを聞いています。

YouTubeチャンネルの登録、グッドボタンもよろしくお願いします!

